

- (1) 会議名
令和3年度第2回北杜市環境保全基金活用検討委員会
- (2) 開催日時
令和3年11月19日(金)午後2時～午後3時40分
- (3) 開催場所
北杜市役所本庁西会議室
- (4) 出席者
委員
協力企業代表者 (代理) 田中敬三
市民代表者 清水精
環境保全団体代表者 篠原充
環境保全団体代表者 跡部治賢
環境保全団体代表者(代理) 中村光良
環境保全団体代表者 鳥屋尾健
北杜市副市長 小林明
北杜市企画部長 中田治仁
事業所管課
林政課長 佐藤康弘
環境課長 中山由郷
環境課新エネルギー推進担当リーダー 日向武彦
観光課観光振興担当 浅川大樹
観光課観光振興担当 幡野祐也
まちづくり推進課長 末木陽一
まちづくり推進課建築開発指導担当リーダー 渡邊勇人
須玉総合支所増富出張所課長 櫻井義文
事務局
政策秘書部長 宮川勇人
政策推進課長 浅川豪
政策推進課政策調整担当リーダー 篠原振一郎
政策推進課政策調整担当 清水将
- (5) 議題
・令和4年度基金活用事業の予算(市実施事業分)について
・その他
- (6) 公開・非公開の別 公開
- (7) 傍聴人の数 0名

以下、会議内容

1. 開会

2. 副市長あいさつ

3. 委員自己紹介

4. 役員選出

北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱第5条の規定により、委員長は互選により定める。委員長に篠原委員、副委員長に清水委員を選任。

5. 委員長あいさつ

6. 議事

(事務局) 傍聴希望者はなし。北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となることを説明する。

(議長) 会議録署名委員を、跡部委員と鳥屋尾委員にお願いする。

(議長) 第1号議案の「令和4年度基金活用事業の予算について」、事務局の説明を求める。

(事務局) はじめに本日審議をいただく主旨と基金の運用状況について説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) 基金残高が厳しくなっている中で、ふるさと納税等の活用をしていくとのことだが、具体的な対策があるのか。

(事務局) 企業版ふるさと納税の活用を企業に進め、協力してもらえる企業を増やしていけるよう取り組んでいく。

(委員長) その他に質疑はあるか。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて、それぞれの事業の説明を求める。全部で5事業あるが、まず、No.1「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」から各所管課より説明を求める。

(所管課：観光課、まちづくり推進課) 事業について説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) 地下水保全・利用対策協議会については、市民提案型事業でも補助があったと思うが、市実施事業との違いは何か。

(事務局) 市民提案型の方は、観測井の機器の入替えであり、市の事業は観測結果の評価や分析を行っている。

(議長) 他に質疑はあるか。

(議長) 他に質疑がないので、No.1「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」は、承認することとするが良いか。

(委員) 異議なし。

次に、No.2「甲武信ユネスコエコパーク推進事業」について、各所管課

より説明を求める。

(所管課：観光課、増富出張所) 事業について説明

(議長) 質疑を求める。

(委員) 「森林整備等財産区活動支援事業」については、明野・須玉の団体だけを支援しなければならない理由があるのか。

(所管課) 財産区が山を守るため枝払いや草刈りをしている。白州・武川と同じように、明野・須玉についても同様に支援をしている。

(委員) 白州・武川も過去、同じように支援を受けていたのか。

(所管課) 白州・武川は南アルプスエコパーク推進事業として同様に支援をしている。

(委員) エリア内動植物生態系調査支援について、どこかの機関に調査依頼等をしているのか。

(所管課) アジア航測株式会社、冊子作成や同定調査を依頼している。同じ活動として、南アルプスユネスコエコパークでは連絡会のみで活動し、採取したサンプルをアジア航測に渡して報告書を提出してもらっている。今後は、甲武信エコパークについても、自前で取り組めるようにし、同程度の予算で実施できるように取組を進めていく。

(委員) 絶滅危惧種のゴマシジミなど、貴重な動植物の調査や教育を地域の子供たちに継続して行ってほしい。

(議長) 他に質疑はあるか。

(議長) 他に質疑がないので、No. 2 「甲武信ユネスコエコパーク推進事業」は、承認することとするが良いか。

(委員) 異議なし。

次に、No. 3 「世界に誇る「水の山」北杜ブランド推進事業」について、各所管課より説明を求める。

(所管課：観光課) 事業について説明

(議長) 質疑を求める。

(議長) 質疑がないので、No. 3 「世界に誇る「水の山」北杜ブランド推進事業」は、承認することとするが良いか。

次に、No. 4 「環境教育推進事業」について、各所管課より説明を求める。

(所管課：環境課) 事業について説明

(議長) 質疑を求める。

(委員) さきほど観光課で、中高生のシビックプライド醸成を目的とした3年間の取組があったが、たまたま事業を実施する3年間に当たった子供のみで終わってしまってはもったいない。保育園、小中高、生涯学習として学び、3年間だけで終わらないよう、全体的な学びのグランドデザインとして、うまく位置付けて取り組んでほしい。

(委員) 環境教育リーダー養成講座の養成員のリストはあるか。オオムラサキセンター等で人手が足りない時に手伝ってもらえるなどできるか。

(所管課) 希望者を募って、タレントバンクに登録してもらうことで協力をしてもらうなどできないか、今後検討していく。

(議長) 他に質疑はあるか。

(議長) 他に質疑がないので、N o . 4 「環境教育推進事業」は、承認することとするが良いか。

(委員) 異議なし。

次に、N o . 5 「里山整備事業補助金」について、各所管課より説明を求める。

(所管課：林政課) 事業について説明

(議長) 質疑を求める。

(議長) 質疑がないので、N o . 5 「里山整備事業補助金」は、承認することとするが良いか。

(委員) 異議なし。

次に、N o . 6 「市民提案型環境保全事業補助金」について、各所管課より説明を求める。

(所管課：政策推進課) 事業について説明

(議長) 質疑を求める。

(議長) 質疑がないので、N o . 6 「市民提案型環境保全事業補助金」は、承認することとするが良いか。

(委員) 異議なし。

(議長) 以上で、議案第1号「令和4年度基金活用事業の予算（市実施事業分）について」はすべて終了となった。議案第2号「その他」について、委員から何かあるか。

(委員) 全体の事業を見て、情報発信という項目だけで900万円ほどの予算が組まれている。情報発信の取組や施策がバラバラになっていると感じる。戦略的に連動性がないと効率が悪い。市の戦略的にどう考えるか。限りある原資を有効に使う意味でも、ターゲットを決めてシャープになるように統一感を持って取り組む必要がある。特にSDGsについては今の時代の中高生は感度が高い。PRの手法としては、例えば甲陵高校の興味のある生徒からアイデアをもらって効率化や魅力アップができる。事業や取組として素晴らしいとは思いますが、うまく情報発信できないともったいない。

(事務局) 確かに行政では広報、ホームページ、CATVなどでの発信が主になるが、それが効率的か、きちんと情報が伝えられているかは引き続き考えていく必要がある。今後、組織の見直しにおいて、情報発信の専門部署も作る予定であるが、いただいた御意見を参考に、効率よく発信できるよう工夫をしていきたい。

また、冒頭で減少推移となる基金への対策について御質問をいただき、企業版ふるさと納税を活用していく旨をお話ししたが、引き続きしっかりと主旨を理解していただく中でPRしていく。ふるさと納税については10億を目標に、トップセールスなどを積極的に行う中で取り組んでいる。環境保全メニューにも活用できるよう今後工夫していく。

(委員)「水の山」の取組について説明をしてもらったが、サステイナブルな取組はまちづくりの取組にも通じる。軽井沢など見ると街全体が「おしゃれ」だと感じる。是非、観光客などがおしゃれだと思うようなまちづくりをしてほしい。これら環境保全の活動を全体的に広げて、サステイナブルでおしゃれなまちづくりに取り組んでほしい。

(議長)「おしゃれ」や「かっこいい」というイメージを広げていく話もあり、良いと感じた。是非みんなで盛り上げていけるよう努めていきたい。他に、委員から意見があるか。

(委員) 意見なし。

(議長) 委員からないため、事務局からはあるか。

(事務局) 次回会議については、令和4年度第1回目を例年どおり4月頃開催予定している。日程は追って各委員へ御連絡する。

(議長) 以上で本日予定していた議事を終了する。スムーズな議事に御協力いただき感謝する。事務局へお返しする。

(事務局) 以上で閉会とする。

7. 閉会

午後3時40分終了